

# ワーク③ 荒城の月

1 「荒城の月」の歌詞について、あとの問いに答えよう。

- (1) 教科書を見て、解答欄に、1番と4番の歌詞を書き入れなさい。
- (2) この曲の作詞者、作曲者を答えなさい。

四、	三、	二、	一、
松に歌うは ただあらし	今荒城の 夜半の月 変わらぬ光 たがためぞ 垣に残るは ただかざら	秋陣營の 霜の色 鳴き行ゆく雁の 数見せて 植うるつるぎに 照りそいし むかしの光 今いずこ	

2 楽譜について、あとの問いに答えよう。

- (1) 速度記号 *Andante* の表示があったら、どのような速さで歌えばよいですか。  
ア 速く    イ 中ぐらいの速さで    ウ ゆっくり歩くような速さで
- (2) 旋律のまとまり 1, 2 小節目を a とすると、解答欄の楽譜の①～③には次のどちらがあてはまりますか。楽譜の中の [    ] に a' か b を書き入れなさい。  
a' … a の旋律と似ているが少し違う。    b … a の旋律とまったく違う。

3 奏太君と彩音さんが「荒城の月」について話しているよ。2人になったつもりで [    ] に適する言葉を書き入れよう。

奏太君 : かつては栄えた [    ] のうらぶれた様子を表す、もの悲しい旋律だね。

彩音さん : 作曲者は、似た [    ] を何回か繰り返しているのね。まとまりごとにどのような変化をつけて歌うか考えてみたいわ。

<b>1</b>	(1) 1 番の歌詞
	4 番の歌詞
	(2) 作詞者
	作曲者

<b>2</b>	(1)
	(2)

<b>3</b>	奏太君	彩音さん
----------	-----	------

解答

<b>1</b>	(1) 1 番の歌詞	春高樓の 花の宴	めぐる盃 影さして
		千代の松が枝 わけ出でし	むかしの光 今いずこ
	4 番の歌詞	天上影は 変わらねど	栄枯は移る 世の姿
		写さんとてか 今もなお	ああ荒城の 夜半の月
	(2) 作詞者	土井 晩翠	作曲者 滝 廉太郎

<b>2</b>	(1)	<b>ウ</b>
	(2)	<p style="text-align: center;"><b>Andante</b></p>

<b>3</b>	奏太君	<b>城</b>	彩音さん	<b>旋律</b>
----------	-----	----------	------	-----------